

2023年12月4日 第476号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

パレスチナに平和を求める取り組みや大軍拡・大増税に反対する取り組みが全国各地で展開されています。取り組みを紹介します。

●北海道

総がかり行動講演会に270人 戦争を止め、平和をつくろう！



11月28日、「戦争させない・9条壊すな！」総がかり行動実行委員会が全国8ブロックでの開催をよびかけた講演会・札幌集会が各界の諸団体、市民270人の参加で開催されました。

「岸田大軍拡と日本の行方」と題した中野晃一さん「(上智大・市民連合)の講演では「日々の戦争報道に傷つけられ続け、それに『慣らされて』しまいそうな自分が怖

くなる」と語られ、今のイスラエルによる殺戮・戦争が中東を超えて地球規模(世界大戦)に拡散しかねない「人類的危機」と米バイデン政権の「統合抑止」戦略の危険、それに日本の政権が追随し「軍拡」に走ることの愚かしさが話されました。

イスラエルによる空爆・封鎖・軍事侵攻による大量殺りくが続くガザ・パレスチナの現状と国際社会の役割を清末愛砂さん(北海道平和運動フォーラム共同代表・室蘭工業大学教授)が熱く訴えました。

憲法共同センター、平和運動フォーラムなど共催3団体とともに道労連、新婦人北海道本部、自由法曹団はじめ道内48の「賛同」による集会の成功が確認され、岐路に立つ日本の行方を考える講演会となり、全道で行動を強化していくことを確認しました。

(道憲法共同センターNEWS 145号より)

●埼玉

9の日宣伝 66カ所に630人が参加 確かな手応え、若者に変化

埼玉憲法会議(憲法共同センター)は、憲法の行方にとって今臨時国会が「山場」と確認し、オール埼玉の「11月は県内各地で宣伝を」の要請にも応えて、「9の日宣伝・100カ所実施」の方針を持ち、関係団体に提案しました。その結果、通常月の2倍を超え、県内6割以上の行政区の駅やスーパー前に630人が参加して、イスラエルによるガザ地区攻撃批判や改憲反対を訴え、市民から大きな共感を得ることができました。

■マイクで「戦争イヤだ！」

浦和駅東口では、男子中学生が「9条知ってるよ」と言ったので渡辺事務局次長が「みんなが大人になったとき日本が戦争したら真っ先に戦場に行くことになるよ」と話をしたら、10人位が立ち止まり、熱心に話を聞いたので、「みんなの思いをマイクで話してよ」と言うと、ジャンケンで代表を決め「戦争はイヤだ！」と叫びました。

さいたま市の大和田駅では女子高生が「9条勉強しました」と語り、加須市の柳生駅と新古河駅でも複数の高校生と対話になり、2人が憲法署名をしてくれました。



■一人宣伝で7割が受け取り

埼労連の新島議長は、県内で最も乗降客が少ない八高線の駅5カ所で一人宣伝にたち、9条ティッシュを配布。本庄市の児玉駅では10人中7人、美里町の松久駅では6人中4人に受け取ってもらするなど、受け取り率は最高です。新島さんは「1分で終わるから楽だよ」と語っていました。

■はずむ対話と交流

さいたま市の美園駅では、若い人が宣伝の様子をスマホで写真を撮り「SNSでアップしてもいい



浦和駅西口宣伝には15人が参加

ですか？」と言われ、秩父市の矢尾デパート前では、温かいお茶とコーヒーの差し入れがあり「貴方たちは正しいよ」と激励されました。

■イスラエルのガザ攻撃に関心

共通した訴えがイスラエルによるガザ地区攻撃問題で、立ち止まってスピーチを聞く人が多くカンパも寄せられました。東浦和駅では15人から1万1千円、浦和駅東口では1万8千円、草加駅では3千円など合計3万4千円になりました。中には現金

を持たない人がわざわざカードで下ろしてきてカンパする人もいました。

■岸田政権への怒り

岸田政権の支持率低下を裏付けるように、岸田首相への怒りの声が沢山寄せられました。中でも物価高による生活苦と税金の無駄使いに批判が目立っていました。

(埼玉憲法会議 NEWS NO:215 より)

自由法曹団 動画【6分で解説！】「安保3文書とは何か」を作成

自由法曹団は安保3文書について6分で解説する動画「安保3文書とは何か」を作成。動画用キャラクター「ホウ」と「セイ」が“ゆっくり解説”風にわかりやすく説明しています。会議の前の学習にぴったりです。

<https://youtu.be/L8ryUHsJ5I0>

